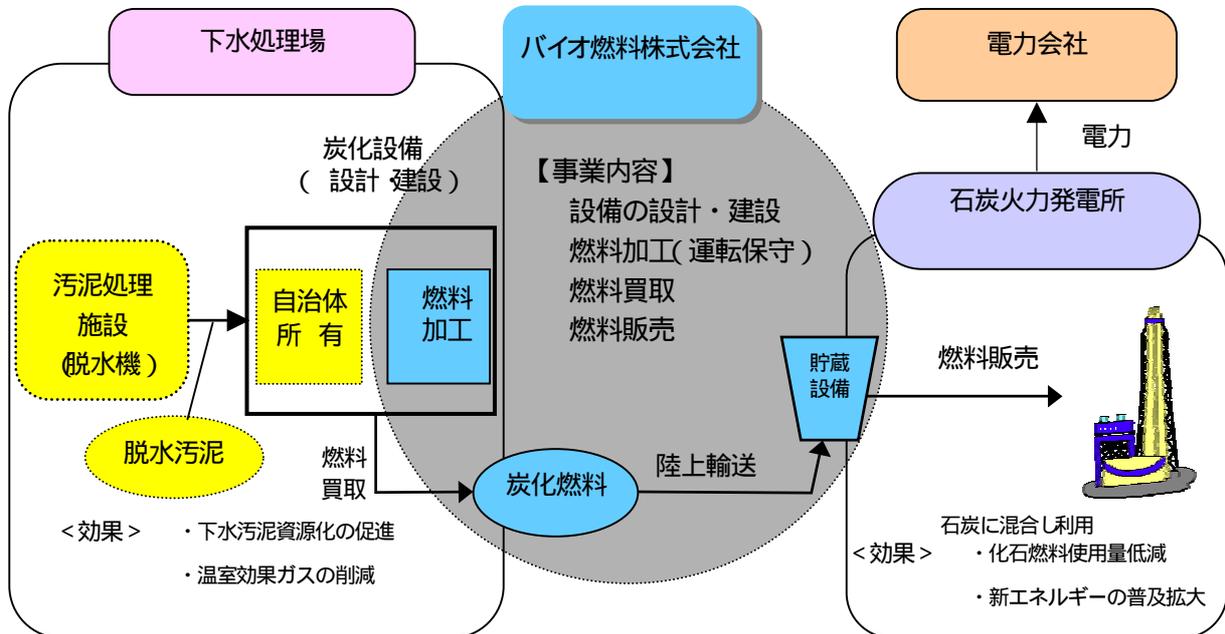


1. 事業スキーム



(参考1)「東部スラッジプラント汚泥炭化事業」の概要

地 点： 東京都下水道局東部スラッジプラント
 場 所： 東京都江東区新砂三丁目9番1号 砂町水再生センター内
 事 業 者： 東京都下水道局（事業主）、東京電力株式会社、バイオ燃料株式会社
 （設備建設・運転保守業務受託予定者）
 運 営 開 始： 平成19年10月
 計 画 製 造 量： 下水汚泥処理により生成される脱水汚泥 99,000 トン/年から、8,700 トン/年の炭化燃料を製造する。

(参考2) 炭化燃料販売先概要

会 社 名： 常磐共同火力株式会社
 社 長： 高坂和夫 たかさかずお
 所 在 地： (本 社) 東京都千代田区神田須田町一丁目1番地
 (発電所) 福島県いわき市佐糠町大島20番地
 プラント名： 勿来発電所7号機 (燃料：石炭、重油混焼)
 最大出力： 25万kW (勿来発電所全体では6～9号機で合計出力162.5万kW)
 運 転 開 始： 昭和45年10月

2. 今回の事業（東部スラッジプラント汚泥炭化事業）による効果

* < >内は効果の帰属先

下水汚泥資源化の促進<東京都下水道局>

脱水汚泥 99,000 トン / 年の資源化は、東京都の年間発生汚泥量の約 9 % に相当。(東京都下水道局試算)

温室効果ガスの削減<a:東京都下水道局、b:勿来発電所>

(a) 下水汚泥を炭化処理することにより、焼却処理時に発生する温室効果ガスを 37,000 トン (CO₂換算) / 年削減。(東京都下水道局試算)

(b) 勿来発電所 7 号機の化石燃料の使用量を減少し約 9,200 トン / 年の CO₂ を削減。(東京電力試算)

(a)+(b) = 約 46,200 トン / 年の CO₂ の削減は、一般家庭 8,250 世帯 / 年^(注)の CO₂ 排出量に相当。

(注) 一般家庭の年間 CO₂ 排出量 5.6 トン (出所: 国立環境研究所ホームページ) により算定